

事業名	【継続】 特定健康診査・特定保健指導事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,792万2	1,287万0	2,008万0		1	5,497万1
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査、保健指導を実施することで、生活習慣病を早期に発見し生活習慣の改善につなげます。併せて、特定の年齢に到達した人を対象に、胃がんリスク検査を実施します。

また、20歳から39歳までの国民健康保険加入者を対象とした若年者健康診査を実施し、早い段階から生活習慣病予防に取り組むことで、特定健康診査の受診率向上につなげ、将来的な医療費の削減、医療費の適正化を図ります。

【事業概要】

①特定健康診査、若年者健康診査対象者への受診券案内



②特定健康診査の実施

対象者：40歳から74歳

健診料：無料

【基本的な健診項目】

- ・問診、血圧の測定
- ・身長、体重、腹囲測定
- ・血液検査（肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査）
- ・尿検査

【詳細な健診項目】（医師の判断で実施）

- ・貧血検査
- ・心電図
- ・眼底検査

②若年者健康診査の実施

対象者：20歳から39歳

健診料：無料

【健診項目】：

特定健康診査と同内容

③健診結果の通知

④特定保健指導

【追加項目】

胃がんリスク検査の実施

- ・対象者：20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳（5歳刻み）
- ・内容：ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査

(特定健診受診率・特定保健指導実施率)

年度	H23	H24	H25	H26	H27
特定健診受診率	42.7%	45.4%	46.4%	45.7%	47.5%
県内順位	8位	9位	8位	7位	6位
特定保健指導実施率	48.3%	53.3%	54.5%	76.3%	70.0%
県内順位	6位	8位	10位	2位	2位

科目	8 款	2 項	1 目	目名称	特定健康診査等事業費	保険健康課（保健センター）
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業概要と同じ ・平成26年度より胃がんリスク検査を実施 ・平成28年度より20歳から39歳までの若年者健診を実施			上記事業内容と同じ		引き続き実施予定

事業名	【継続】 三会水系高度浄水施設等整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4億1,688万0	1億1,858万4		1億5,000万0	1億1,850万0	2,979万6
事業期間	平成26年度～平成29年度 (複数年事業)			総事業費	15億9,671万3

【事業目的】

三会水系の第1水源及び第3水源の水質悪化（硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素濃度の水質基準値超過）に伴う代替水源の開発と民営水道3地区（礪石原町、広高野町、立野町）への給水区域拡張を図ります。

【事業概要】

三会水系に良質な新規水源の確保が困難なため、水源周辺の環境が良好な油堀町、礪石原町並びに立野町に新規水源の開発と浄水、配水施設を新設します。また、折橋水系から三会配水池への送水施設の新設を計画しています。

事業期間	平成26年度～平成29年度
事業内容	新規水源整備 6本
	配水池等整備 3箇所
	調整槽整備 2箇所
	配水管布設等 L=16,195m

※簡易水道再編推進事業との水量による事業間配分あり

- ・新規水源整備（油堀）2本
- ・配水池整備（油堀）1箇所
- ・配水管布設等（油堀）360m

【事業実施による効果】

水源開発に伴い、原水水質が悪化している既存水源を廃止することで、安全な水道水の供給が可能となります。また、市営水道未普及地域の解消により、市内全域への市営水道サービスを提供できます。（28年度礪石原町、広高野町に給水開始、29年度立野町に給水開始予定）



油堀浄水場新設工事



配水管布設工事

科目	1 款	1 項	1 目	目名称	拡張費	水道課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	水源さく井	6本		調整槽新設	1箇所	
	浄水場配水池新設	3箇所		送配水管布設	L=7,138m	
	調整槽新設	1箇所				
	配水管布設等	L=9,057m				